

# ブータン王国での美術指導力の向上とアートを通じた地域活性化プロジェクト（2020年～2024年）

## アート・美術教育が日本の地方と世界を繋げる

■ **実施団体**：公益財団法人 浜田市教育文化振興事業団  
(浜田市世界こども美術館)

■ **対象国・地域**：  
ブータン王国  
ティンプー県・パロ県・八県



■ **現地カウンターパート**

・ブータン王国教育省・学校教育課程課

■ **協力内容**：

- ・美術教員の基礎知識や技術力を高める。
- ・対象地域（3地域）の部会を統括する組織を立ち上げ、地域間交流を活性化させる。
- ・対象地域（3地域）でアートフェスティバルを実施し、地域住民の美術教育に対する意識・理解を深める。

■ **団体のこれまでの取り組み**：

（ブータンと浜田市は、1986年（旧三隅町時代）より石州和紙を通じた国際交流を実施。）2017年から2020年まで先行事業となる草の根技術協力事業「ブータン王国における美術教育支援事業」を実施し、対象地域での小学校等で美術を担当する教員の指導力向上に貢献。

■ **事業実施の背景**：

美術が小学校の教科として導入されて歴史の浅いブータン王国では、美術を教える立場である教員自らも美術の授業を受けたことがなく授業の実施に課題があり、また学歴重視の同国においては美術の重要性について保護者や地域住民に理解してもらう必要があった。

## ブータン王国の課題と成果

**課題①** 教員の美術の授業の質の向上を目指すも、教えられる教員や指導力向上の機会が限定的。

**成果①** 美術を教える教員同士で情報交換する場（オンライン）や、教員個人に留まっていたノウハウを地域を超え教員・関係者間で共有する部会、教材集を作ることで教育の質の向上につなげた。

**課題②** 地域の人々にとって作品鑑賞や創作活動の機会はほとんどなく、美術教育の重要性が十分に理解されない。

**成果②** 事業対象の3地域において「アートフェスティバル」を実施。合計約3000名の来場を得て、美術教育の重要性の周知と理解度を深める機運に結び付いた。



## 事業の波及効果

**！** アートを通じて市民と世界の途上国が繋がる、広がる！

- ・本邦研修時にブータンの教員らが浜田市内の小・中学校を訪問し、児童・生徒と交流。その後、実施団体が調整役となってブータンの学校と浜田市の中学校が積極的にオンラインで交流授業を実施するなど国際理解を推進。

- ・浜田市世界こども美術館の企画展で、ブータンに加えて派遣中のJICA海外協力隊員と協働して途上国の子どもたちの絵画や国の紹介を展示。

